

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である

学校名	唐津市高島小学校
1 前年度 評価結果の概要	前年度は、学校教育目標に「学ぶ楽しさの追求」を挙げ、①職員の資質向上②基礎学力の定着③教育環境の充実に取組んできた。具体的には、「島おこし」について総合的な学習の時間に取り扱い、地域と連携することで島を活性化したいとする前向きな姿を学ぶことができた。また、学習したことをTwitterボットで情報発信を行ったり、プログラミング教育に生かしたりするだけでなく、他の離島の児童や島を訪れた団体にプレゼンテーションすることでコミュニケーション能力の伸長も図ってきた。各教科においては、電子黒板だけでなく、電子辞書やタブレット端末など様々なICT機器を活用して基礎学力の向上に努めてきた。今後は、児童の視野をさらに広げて自ら関わろうとする意欲を喚起するとともにICT機器を手段としてコミュニケーション力の向上を目指すための取組みを進めていく。生活面では離島という狭い環境の中、いじめ等の問題もなく穏やかに過ごしているが、大きな集団で過ごす中学校進学後を見据えた指導が今後の課題である。健康・体づくりにおいては、児童の主體的な取り組みが体力や健康に対する意識向上につながった。
2 学校教育目標	学ぶ楽しさの追求
3 本年度の重点目標	1 職員の資質向上（・児童の実態・特質に応じた指導の工夫・ICTを活用した授業の工夫） 2 基礎学力の定着（・コミュニケーション能力を育てる指導の工夫・基礎的学習内容の習得を図る工夫） 3 教育環境の充実（・ICT機器の充実・地域との連携）

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価			主な担当者	
(1)共通評価項目										
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価			学校関係者評価	
	取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	○学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上。	・教師間でマイプランを共有するとともに、校内研修で取り組んだり、学期ごとに内容の情報交換を行う。							宮崎ち
	○基礎学力の定着	○朝のスキルタイム実施90%実施。	・言語活用練習や活字慣れのために子ども新聞を読んだり、書いたりする活動を行う。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学期に1回、人権・同和教育の視点で道徳教育に取り組む。 ○学期に1回、「心のアンケート」を実施して肯定的な回答の児童を80%以上にする。	○人権・同和教育の参考資料を基にして、各学年で指導を行う。 ○心のアンケートの中で自分が頑張っている事やできるようになった事を記述する欄を設ける。 ○保護者や地域の方々と連携した体験活動を実施する。							岩野
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○2か月に1回、学活の時間を活用して担任と児童の個人面談を行い、気になることや悩み等を聞く。	○児童から得た情報を基に、月1回の児童支援委員会にて情報共有を行い、全職員で問題解決を図る。							
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ①運動習慣 ②食習慣 ③病気・ケガの予防	①委員会活動を通して、児童主体の体力向上に向けた啓発や活動を学期に1回以上は行う。 教師側からも学期に1度は季節や体育行事に応じた提案等を行い、より望ましい運動習慣について、考えさせる。 ②食に関する興味を持たせるために栄養指導と朝食指導を学期に1回行う。マナー指導については、給食時間に全職員で行う。 ③自分の身体に関心を持ち、健康を維持していけるような知識をつけさせるため、月に1度朝の時間に健康アドバイスをを行う。 各健診後2週間以内に事後措置を行う。	①週に1度は全校児童で20分休みになわとびに取り組み、回数を記録し、委員会個人ごとのグラフを作成させる。活動や記録から個人の体力の向上を意識させる。 学期に1度は、体育行事等で個人めあてを設定させ、活動後、体力の向上や運動への意識がどう変化したのか振り返りをさせる。 ②朝食アンケートをとりながら栄養についての指導を行う。マナーについては、配膳の仕方、箸の持ち方、姿勢などの指導を行う。 ③学期に1回発育測定をする。健康診断の結果を活用しながら、個人にあった保健指導を行い、発達段階や季節にあった保健指導を実施する。毎月、保健目標にあった掲示をする。							池田吉本
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・船便変更日以外定時退勤を遵守する。						
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価			学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価		意見や提言
◎志を高める教育	○地域の未来について考えることのできる児童の育成	○自分の行動を客観的に捉えさせ、自己変容を確認することで80%以上の児童が成長を感じる。	①キャリア・パスポートに学習活動や行事等の目標を書き、見直しを持って活動して振り返りまで行う。学期末ごとに今までの振り返り、自己変容を確認させる。②総合的な学習の時間に地域の人と接することで今の自分にできることを考えさせる。							宮崎ち
○教育環境の充実	○ICT機器を活用した個別最適化学習の推進	○週に1回以上タブレットPCなどICT機器を利用する児童が70%以上。	①学習目標を達成するために、進んでICT機器を活用させる。②校内研修の中で、児童にとって有効的なICT機器の活用の仕方を情報共有したり、年間1回以上ICT機器利活用の研修を実施する。							楠田

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------